

— 真の更生を目指して —

オリーブの家の絆

— 新しい集会所兼食堂のスタート —

すべての大工工事が終了したのが9月の半ば、あの震災から丁度5ヶ月後の事でした。残すはエアコン取り付けのみでしたが、この工事がなかなか進みません。そんな状態がずっと続いていました。現在の熊本地方は思い通りの工事を、日程にそって進める事は不可能と聞いてよいでしょう。それ程、人材、物資が不足しているのです。

新しい集会所での最初の行事は山鹿地区鹿本町更生保護女性会の皆様を、お迎えする事でした。28人乗りのマイクロバスにてご訪問という事でしたから、もちろん今までのオリーブの家では対応不可能です。新しい集会所が完成したからこそその事なので、緊張の反面、楽しさ嬉しさもありました。

10/4のご訪問は以前から決まっていた事でした。今日(10日)でこそ最高気温は30度を下回っていますが、4日の当日は真夏日が予想されています。扇風機を4台設置し回転させましたが、南と西に窓があ

る新集会所ではあまり効果が上がりません。サウナ状態です。オーナーさんを通して工事屋さんに催促の連絡をしました。すると何と！前日の夕方に取り付け工事が完了し、山鹿地区鹿本町更生保護女性会、保護司さんも含め20名の方々を無事お迎えする事ができました。神様に感謝です。ハレルヤ！

10/9(日)には熊本聖書フォーラムの清水リーダーをお迎えして記念礼拝を行う事ができました。ファミリー、OBを含め14名での礼拝でした。皆さん真剣に聴いていたのがとても印象に残っています。

その後は、ファミリー(入室者)で半年間の経験、自立後は本人の希望もありパートの職員として1年と4ヶ月、オリーブの家で働いてくれたIさんのお別れの挨拶がありました。彼は一生懸命働いてくれました。特に同じコーポ池田に住んでいることから、夜の備えをしてくれた事が本当に感謝でした。挨拶では私に抱きついて号泣しました。私ももらい泣きです。皆さんも感動で泣い

ています。神様は素晴らしい仲間を集めてくれています。

本人の強い希望でオリーブの家でもお世話になっていない不動産屋さんから、オリーブの家から歩いて5分のところに部屋を借りる事が出来ました。今後は、フルタイムで働く運転業務です。何時も事ある毎にかけてくれるオリーブの家OBのNさんの紹介で働きます。ありがたい事に自立する時、OBの皆さんは必ずオリーブの家の近くに部屋を借りたいと言います。近くに居てサポートをしたいと言うのです。「オリーブの家の絆」を強く感じています。

新しいホールが出来ました

ついに、新しい集会所で礼拝と食事作りが始まります。

平成26年の10月、保護観察所からの指導により、オリーブの家でも食堂が始まりました。今まで普通の一居室だった207号



オリーブの家
理事長
青木康正

室が、皆さんのお力をお借りし、見事な食堂に様変わりしたので。温かな居心地の良い食堂です。その時の感動はハッキリと覚えています。実はちょうどその頃、私たちは皆が集まれるような場所の必要性を感じるようになっていましたから、願ってもない事でした。以前の台所は狭くて調理しづらかったかと思いますが、調理担当者はよく奮闘して美味しい食事を出してくれました。感謝です。

ここでは、昨年1月から日曜ごとに礼拝をしています。礼拝後は、皆でカレーライスの昼食会や誕生会をしました。お客さまをお迎えしてお話を聞くのもこの部屋でした。沢山の方々をお迎えしました。ある時は、腹話術を披露してくださいました。また、ある時は、遠方より来てくださってファミリーの皆さんへ励ましの言葉を頂きました。狭い部屋に椅子をぎゅうぎゅうに並べて、記念写真を撮りました。それからちょうど2年、新しい台所と食堂が与えられたのです。不思議です。震災を通して与えられた大いなる神の恵みであると思います。さあ、これから新しい一歩が始まります。楽しみであります。次に、調理担当のMさんのコメントです。

「私はオリーブの家で入居者さんたちの食事を作る仕事をしています。だいたいいつも10人前をひとりで作っています。オリーブの家に来てちょうど一年になりました。

最初はいろいろと不安もありましたが、理事長をはじめスタッフの方々がとても良い人ばかりで、すぐに打ち解けることができました。今も楽しく食事を作ることができています。

そんな優しさに溢れた場所ですから、ここへやって来る入居者の皆さんも心が落ち着いて、穏やかに過ごしていらっしやるように見えます。私は別室で食事を取るのですが、食事の時は食堂から笑い声が聞こえてきます。皆さん本当に楽しそうです。そんなオリーブの家の様子を世間に伝えたいと、私はブログ上で「オリーブの家の食卓」というページを作りました。よかったら是非ご覧になってください。」

この部屋のネーミングを募集します

11月一杯に応募くださると嬉しいのです。来月、この場をお借りして発表させていただきますので宜しくお願い致します。「オリーブの家」事務局宛てに、メールまたはお葉書にてご応募ください。奮ってのご応募を心よりお待ちしております。 (事務局より)。



オリーブの家 活動レポート

- * 9 / 1 理事長、ファミリーの会のAさんの通信
高校の三者面談に出席
- * 9 / 6 Mさん入室
- * 9 / 11 Mさんの誕生会
- * 9 / 15 ~ 17 理事長夫妻、大阪フォーラムキャン
プ参加。オリーブの家の報告を行う
- * 9 / 19 Nさん退室。敬老の日祝会。Yさん誕生
日
- * 9 / 20 Y・Mさん入室
- * 9 / 21 大分地域生活定着支援センターより2名
訪問
- * 9 / 27 菊池市更生保護女性会の見学訪問あり

日曜礼拝

9 / 4	11人	自己紹介 「自分の足で立つ」(使徒26・16)
9 / 11	14人	職員Iさんの証し (マタイ6・34)
9 / 18	10人	大韓基督教会の礼拝出席
9 / 25	11人	福音の三要素 月刊オリーブ10月号を見る



支援者からの 寄稿



熊本保護観察所保護観察官 草野 桂一

平成27年4月から、熊本保護観察所で自立準備ホーム担当業務に携わっております保護観察官の草野と申します。自立準備ホームとは、あらかじめ保護観察所に登録された受託事業者が、刑務所出所者等（保護観察対象者及び更生緊急保護対象者）に対して宿泊場所や食事を提供し、自立のため支援を行っていたりいただくものです。「オリーブの家」は平成26年3月、受託事業者として登録いただきました。

保護観察対象者や更生緊急保護対象者は、様々な事情で当庁へ相談に来所されます。支援を受けたい理由を聞いて、支援の必要性に応じて対応することになります。主に「住居がない」「帰る家がない」場合に一時的に住むことができる場として、自立準備ホームへ対象者（保護を受けたい人）の受託保護をお願いしています。

相談に来られる対象者の方の事情も様々ですが、特に最近では、高齢者、知的障害者、依存症等の精神

疾患を抱える人、問題を複合的に抱える人が多いような気がします。

一例を紹介しますと、昨年（平成27年）のクリスマスの日の午後、刑務所を満期出所し、住居がないとのことでの暗い表情の男性が保護を求めて来庁されました。話しを聞いて見ると、「詐欺事案（無銭飲食）で4回目の服役。出所時約5千6百円の所持金で交通機関を利用し、ゆかりのある熊本へ来た。現在の所持金は約5百円。体調も悪いので住居等保護してほしい」との相談だったので、身体状況を聞いて裏付けを関係機関に確認してみたところ、なんと、てんかん、うつ病、アルコール依存症、高血圧、髄膜脳炎後遺症、障害者手帳、療育手帳所持ということが判明し、早急に医療機関に繋ぐ必要性がありました。

福祉支援を調整の上、青木理事長に相談し、保護依頼をお願いしたところ受託していただき、夕方迎えに来ていただきました。青木理事長から本人に対し、「心配しなくていいから、まず病院へ行つて診察を受け、薬を貰うようにしましょう。温かく迎えますよ」と優しい声を掛けられ、本人は感極まった様子でした。私は正直、これだけの現在症を持ち、処遇困難が容易に想定されるケースであり、断られることも十分想定していたのですが、青木理事長の懐の大きさに感銘したものでした。年末にも関わらず、医療機関へ同行等いただき、処遇を尽くしていただきました。

自立準備ホームへは、一時的な住居の提供をお願いしている訳ではありません。処遇として必要な支援も求めており、例えば、規則正しい生活習慣の形成のための助言、公的手続きの支援、福祉・医療機関の紹介、病気等緊急時の対応等です。様々なケースで難題があり、対処されていると共に、青木理事長はじめスタッフの皆様、その関係者の支援と理解があつてこそ、対象者の居場所と社会復帰への第一歩、すなわち改善更生に繋がっていることと思えます。心から感謝申し上げ、今後とも物心両面にわたる援助、また立ち直りを支えていただきますよう、よろしくお願いいたします。

（・・・フェイスブックで「オリーブの家」の食卓を検索すると、日々の食事メニューがアップされているようです♪季節感のある料理に我が家のレシピの参考になっております♪）

プロフィール 草野 桂一

平成20年熊本保護観察所入所、熊本、八代、北九州を経て平成27年4月現職。

【出身】熊本県八代市

【家族】妻、長男、二男、三男

【趣味】美味しい物を食べること（果物・スナック菓子・ラーメン等）

【気になること】お腹がふくらんできたこと。

ファミリーの声

「整理整頓清掃」心が整っていないと出来ません！

私がオリーブの家に来て早いもので40日が過ぎようとしています。今から4ヶ月前、自分はある罪を犯してしまいました。3ヶ月間、反省の意味も込めて辛い生活を経験しました。その前は人間関係に疲れ路上生活を3年くらいしています。自分の人生はもう終わったと思っています。でも理事長、奥さん、スタッフの皆さんに出会って初めて安心感を得ることが出来、自分はまだやり直せるのだと改めて思いました。何ひとつ持っていなかった私に生活に必要なものを与えてくれたのはオリーブの家でした。オリーブの家の日曜礼拝は初めての事でしたが、自分を見つめ、これからの事を考えるのにすごく参考になっています。お世話になった恩返しで、朝の周辺清掃や食事後の洗い物など自分出来る事をする。それが今私にできる最善な事だと思っています。

これから先、自分自身をしっかり見つめ、じっくり考えながら自立に向け歩みたいと思っています。もう後悔するような事はしたくない！いつも感謝して生活します。ありがとうございます。 (T・Mさん)

オリーブの家に外部から訪問された方にはMさんの部屋を紹介します。それ程、整理整頓ピカイチのMさんです。今後の歩みを期待します。

「人は内側が変わらなければ何も変わらない」の実践です！

「人は内側が変わらなければ何も変わらない」との理事長の言葉がいつも私の心に刻まれています。今では毎朝お祈りをして神様の恵みに感謝しています。

私が入室したのは一昨年の12月です。当初は不安がありました。徐々にオリーブの家の雰囲気慣れ、6ヶ月を無事に過ごすことが出来ました。その後、コーポ池田に部屋を借り、新聞配達の仕事やオリーブの家の職員として頑張ってきました。今の生活は本当に幸せです。こ

こ熊本では友達にも恵まれて、地域の方々との面識も出来て、毎日がとても充実しています。神様はいついかなるときも私達を愛してくださっているのだということをおリーブの家で教えてもらいました。理事長と始めた朝の周辺清掃、地区の方々からは毎朝、温かいご挨拶をいただいています。60歳を過ぎて初めて人の温もりに触れました。ある少年の退室で涙が止まらなかった思い出もあります。今後はオリーブの家と少し距離をおいて関わっていくことになりませんが、時間を見つけてお手伝いします。自分で生活をしていくからにはしっかりと計画を立てないとすぐに駄目になってしまいます。もう昔の自分には戻りたくない！オリーブの家を通して、神様の愛に触れて、少しずつ自分の内側が変わってきている実感もあります。オリーブの家で学んだことを肝に銘じて、荒波を乗り越えていきます。感謝！ (M・ーさん)

ファミリーのOBとして、また職員としても大いなる働きをしてください。ありがとうございます。本当にご苦労様でした。 (コメント 青木理事長)

皆様のあたたかいご支援に感謝いたします。

銀行振込

肥後銀行 (銀行コード: 0182)
京町支店 (支店コード: 156)
口座番号: (普通) 1574408
口座名義: NPO 法人 オリーブの家
トクヒ) オリーブノイエ

郵便振替

銀行名: ゆうちょ銀行 (金融機関コード: 990)
口座番号: 17180-5444801
口座名称 (漢字): NPO 法人オリーブの家
口座名称 (カナ): トクヒ) オリーブノイエ
(他銀行からお振込の場合は)
店名: セー八 (読み: ナナイチハチ)
店番: 718
口座番号: (普通) 0544480

2016年会計報告 (9月)

先月より繰越				1,521,920	
収入	公的援助	659,820	支出	家賃	244,000
	献金	545,821		水光熱費	69,080
	その他	6,458		食費	221,128
	収入合計	1,212,099		人件費	527,844
				その他	580,366
				施設準備積立金	100,000
収支合計				- 530,319	
翌月繰越し現金預金				991,601	



月刊オリーブ

2016年11月1日発行
(毎月1回発行) 第18号

編集・発行 NPO 法人「オリーブの家」
〒860-0082 熊本県熊本市西区池田2丁目9番1号 コーポ池田201
TEL 096-342-4123 / FAX 096-342-4248 / E-mail 0110harvest@gmail.com
<http://seishoforum.net/olive-house/about/>

